

「売渡申証文之事」(湯本家文書No. 11373)

【翻刻】

売渡申証文之事

一 湯屋老ヶ所 但梁間三軒桁行八間
造作附諸道具一式

井戸老ツ

敷地之儀者貴殿持

借地ニ而是迄渡世仕(「仕」を抹消)

罷在都而仕来り之通

此代金五拾五両也

右者其御村方地内ニ而書面之湯屋所持
罷居候處、今般夫々之衆中御世話を以
貴殿地主之事故申談之上、示談相整

今日代金取引相濟申所

前書代金取引相濟し申候所実正也

然ル上者、以来貴殿方御勝手次第御取計
可被成候、尤右家作ニ付脇方故障無御座候
為後日証文仍而如件

明治三午年十二月廿七日

埼玉村

売主 半兵衛

佐間村

世話人 利助

組頭 申八

佐間村

亀次郎殿

【読み下し文】

売り渡し申す証文の事

一つ、湯屋老か所 但し梁間三軒桁行八間
造作附き諸道具一式

井戸老つ

敷地の儀は貴殿持ち

借地にて是迄渡世仕り(「仕」を抹消)

罷り在り都て仕来りの通り

此の代金五拾五両也

右は其御村方地内にて書面の湯屋所持
罷り居り候ところ、今般夫々の衆中御世話を以て
貴殿地主の事故申し談じの上、示談相整い

今日代金取引相濟み申す所

前書代金取引究め売り渡し申し候所、実正也

然る上は、以来貴殿方御勝手次第御取り計らい
成さるべく候、尤も右家作に付き脇より故障御座無く候
後日のため証文よつて件の如し

明治三午年十二月廿七日

埼玉村

売主 半兵衛

佐間村

世話人 利助

組頭 申八

佐間村

亀次郎殿